

### 第3回壮警町町づくり審議会会議結果

---

■日 程 令和元年12月18日（水曜日） 午後6時25分～午後7時45分

■場 所 壮警町役場 2階大会議室

■出席委員 会 長 清水 修  
副 会 長 木村 大作  
委 員 川南 恵美子 柴田 暦章 土屋 知実  
高橋 仙行 藤澤 憲隆 松原 宣彦

■欠席委員 富田 和也 中山 茂樹

■役場出席者 企画財政課長 上名 正樹  
企画財政課主幹 作田 宏明  
企画財政課係長 武岡 忍  
企画財政課主事 谷永 直樹

---

- 会議次第
1. 開会
  2. 諮問にかかわる審議について
    - ・第5次壮警町まちづくり総合計画基本計画について
  3. その他
  4. 閉会

#### 1. 開会

#### 2. 諮問にかかわる審議について

- ・第5次壮警町まちづくり総合計画基本計画について  
事務局から説明

○審議会委員：6ページの未来へつなぐ産業の（5）企業・人材誘致のあとに、修正後の基本構想では、六次産業化・農商工連携の推進が位置付けられているが、基本計画では位置付けされていない。（六次産業化・農商工連携の推進が未来へつなぐ産業よりも最初に書かれている。）8ページでは、基本構想で新たに（3）の次に（4）社会教育の推進が盛り込まれているが、基本計画には（4）の記載がない。12ページの地域を生かす基盤整備のところで、タイトルの下にすぐ現状と課題が書かれているが、ほかのページでは（1）（2）というふうになっている。この項目では、（1）から（6）の標記が抜けているので、ほかと体裁が合っていない。また、7ページの主な施策のところに学校教育との連携とあるが、どこが学校教育と連携するのか。

○町：7ページは保育所、小中高間の連携強化という意味で、学校教育との連携という表現が適切ではないので、修正する。

○審議会委員：今課長が言われたようなことであれば、学校間の連携という表現になるのかなと思う。

- 町 : 6ページ8ページについては、基本計画を事前に郵送したあとにも、基本構想の修正があり、今委員が言われたように、「1 元気な産業のまち」の施策の順番を入れ替えたり、「2 笑顔あふれる暮らしのまち」に(4)社会教育の推進を追加したりしているので、基本計画と合っていない部分が出てきている。
- 町 : 修正した基本構想を基に、基本計画も修正しなければならなかったが、郵送するタイミングに間に合わなかったので、ずれている部分がある。これから修正させていただきたい。
- 審議会委員 : 5ページの主な施策の中にジオパーク推進という項目があり、内容としては、ジオサイトの適切な維持となっているが、維持するだけでなく利用促進という言葉を入れたほうがいいのではないかと。分野別懇談会で、町民から規制を解除して利用促進できるような環境づくりをしたらどうかという声もあったので、このような表現がいいと思った。また、8ページの高校を核とした地方創生で、技術や情報、調査研究の拠点としての役割を強化とあるが、具体的に何をイメージしてこのような表現になっているのかを教えてください。さらに、10ページの(2)生きがいつくりの本文中、令和元年9月30日現在の65歳以上の人口はと書かれているが、特別な理由がない限り、年度末の数値である3月31日現在にしたほうが、ほかの表との整合性も図られるのではないかと。
- 町 : 5ページについては、表現を変えさせていただく。8ページは、高校を核とした地方創生ということで、高校から農業の担い手等を輩出したいという思いがあり、もっと高校を活用して技術を研究したり農業を普及したりして、高校の持つ役割を強化したいと考えている。しかし、表現がわかりづらいところもあるので、書き方を検討していきたい。
- 審議会会長 : 関連で8ページに老朽校舎での学校運営ですが云々と記載されている。12ページの地域を生かす基盤整備の滝之町地区のところ、小中学校の整備は書かれているので、高校の整備についても位置付けする必要があるのではないかと。
- 町 : 小学校が30年程度、中学校が40年程度経過している。高校はもっと経過しているが、高校のあり方を今後検討していく中で、老朽化している校舎をどうするのかという視点は必要なことであるが、ここでは明確に位置付けていない。
- 審議会会長 : 総合計画に柔軟性を持たせるためにも、明記してもいいのではないかと考えている。
- 審議会委員 : 7ページの(2)の施策のところ、保育所から中学校までの一貫教育環境体制の構築と書いてあるが、通常一貫教育と書かれると小中一貫の義務教育学校というものを想定する。そのような想定をしているのか。
- 町 : 具体的な検討はまだできていない。中学校の建て替えの話はあるが、今の財政状況では、すぐにと話にはなっていない。小学校も古くなっていく中で、小学校と中学校を近い場所で建てるという案も出ている。大滝みたいな小中一貫校にするという話が出ていないが、保育所と小学校中学校が近くにあって、連携して教育ができる環境を整えていけたらということを書いてある。表現が引っかかるのも事実なので、検討させていただきたい。
- 町 : 今課長が言われたことは、住宅市街地整備方針の中でも小学校付近を児童文教ゾーンとして位置付けているものであり、一貫という言葉が適切かどうかは検討しないといけないとは思っている。
- 審議会委員 : 保育所のことも書かれているので、一貫というイメージをしづらい。
- 町 : 表現の仕方を検討していきたい。

- 審議会会長：10ページの(2)の本文中、介護保険施設は介護保健施設である。また、主な施策の施設福祉サービスの中にあるデイサービス、ショートステイについては、在宅福祉サービスに入る。さらに、9ページの本文中に、サポートセンターたつかーむとピンポイントに表現しているのが気になるので、障がい者サポートセンターというような表記にしたほうが良いと思う。
- 町：確認して修正する。
- 審議会委員：14ページの(2)で、歳出抑制という表現があるが、もう少し具体的な書き方をしたほうが良いのではないかと思った。町内にはいろいろな人がいる。役場の中にも学芸員の資格を持っている、イラストレーターを使える、旅行業務を執り行えるなどのいろいろな人材がいる。役場は外部に様々な業務を発注することが多いが、内部の人たちで解決できることは、内部の人を活用するというような視点が必要で、それが歳出抑制にもつながるのではないかと思っている。また、町民がどのような特技を持っているのかという掘り起こしを行うことも良いのではないかと思っている。
- 町：ここに書いてある歳出抑制については、行政改革や行政評価をして事務事業を見直しして歳出抑制につなげていくということであったが、今言われたような視点も検討していきたいと思っている。
- 審議会委員：フィンランド派遣を続けるのであれば、経路便を利用しているのを直行便に変更することで、派遣日数が少なくなり、支出を減らすことができる。時期的に8月となれば、なかなか飛行機の選択肢がないのかもしれないが、今までやってきたことを見直ししてから継続していくと言ったほうが、フィンランドにお金をかけるなら、老人福祉施策を充実してほしいという人に対しての説得力も増すのかなと思っている。
- 町：フィンランド派遣については、現行制度での派遣は来年度で一区切りとなっており、現在、教育委員会で見直しをしているところでもあるので、教育委員会に確認しながら進めていきたいと思っている。
- 町：フィンエアーの直行便を使うとどのくらい経費を削減できるのかの確認を教育委員会が旅行会社に行っているところである。また、直行便にすることで日程の短縮にもつながるかどうかも確認しているところである。
- 審議会委員：制度上、フィンランド派遣を修学旅行には振替られないので、どうしても長期休暇中の夏休みか冬休みになってしまうというはある。
- 審議会委員：13ページの親切で信頼される役場という表現が良いなと思っている。私は壮瞥に来てから10年以上経つので、役場の方々とは話しやすい環境にある。役場は壮瞥町で一番大きな窓口となるので、来庁者が相談しやすい環境を構築しないとイケないと思っている。前にある人から窓口で対応してくれた職員があまりいい対応ではなかったという話をされたことがあり、役場の対応でまちに対するイメージも変わってくるので、この位置付けはいいなと思っている。
- 審議会会長：逆に総合計画に位置付ける必要があることなのか、今更ではないかという気もしなくはない。
- 審議会委員：関係人口が増える意味でも大事な視点だと思う。
- 審議会委員：懇談会でも役場の対応のことは言われていた。
- 審議会委員：総合計画に位置付けるということは、信頼がないのかなと思っている。
- 審議会委員：12ページの主な施策の中で、久保内地区の内容に、買い物がしやすい環境づくりの検討とあるが、買い物ができるに変えていただきたい。現在、商店がないのにしやすいという表現は引かかると感じる。

- 審議会委員：一番の大枠となる計画なので、具体的にどこまで言っていていいか難しいところはある。
- 町：最上位計画で大枠ではあるが、第5次総合計画では町長の想いもあり、ある程度は具体的に記載させていただいた。そのへんについてもご意見があればと思っている。
- 審議会会長：分野別懇談会で、洞爺湖一周サイクリングロードがあればいいという話が出たときに、洞爺湖町と協議していきますみたいなこと言っていたと思うがどうなのか。
- 町：実現はなかなか難しいところではあると思う。
- 町：道路管理者が北海道となっている。分野別懇談会で環境省の金子さんから、協力しますとは言っていたが、道路管理者には環境省の許可がでないからとか森林管理署の許可がでないからできないと言われる。東湖畔のトンネルができた際には、その先の道路拡幅もお願いしたいと要望しているが、そのへんもなかなか進んでいかないのが現状である。サイクリングロードとなると道路の幅も広げないといけないので、まずは道路を拡幅してもらうことが優先である。
- 審議会会長：お互いの省庁が責任の所在を押しつけ合うような感じということか。道路を拡幅すると環境を壊すかもしれないということか。
- 町：自然保護区域に指定されているところの道路等を変更しようとする、どうして変える必要があるのかという説明をしなければならない。木を一本切るだけでも、許可が必要だったり、申請しても許可されなかったりする。そういうところが打破できていない。地元はずっと要望している。役場がきちんとやっていないからだと言われればそれまでだが、実際に工事の予算を付けて実施するのは道路管理者なので、なかなかうまくいっていない。そのようなこともあるので、サイクリングロードの整備は難しいと思う。
- 審議会委員：12ページの蟠溪地区の施策に美化という言葉を入れてほしい。地域のまちづくりを進める上では、その周辺がきれいでないといけない。まち全体を美化することはとても重要である。蟠溪は壮瞥町の出入口なので、美化してもらいたい。
- 町：検討していきたい。
- 審議会委員：4ページの本文中、農作物の食害が急増しておりと書いてあるが、有害鳥獣という言葉を入れたほうがいいのではないか。
- 審議会委員：2ページの施策の体系図については、よくある言葉がいっぱい、壮瞥ならではの言葉が入っていればいいなと思っている。笑顔あふれる元気なまちそうべつとあるが、もう少し具体的なものがあればいいと思う。町民アンケートの結果を見ると、今後も壮瞥町に住み続けたいと思っている人が6割以上いるので、住み続けたいまちそうべつという言葉や幸福度という言葉がどこかに入っていればより具体的になるのかなと思っている。
- 審議会委員：6ページの(5)の主な施策のところ、ホテル開業に向けた支援と書かれているが、ホテルに限定するのではなくもう少し広げた書き方をしたほうがいいのではないか。
- 町：限定的な書き方となっているので、表現を変える。
- 審議会会長：まちを活発にするために、テレビドラマのロケ地として選んでもらうことは可能なのか。例えばNHKの朝ドラとかはどうなのか。
- 町：ドラマの撮影は結構行われている。
- 審議会会長：それは相手がロケ地を選んで来ているのか。こちら側は何もしていないということか。
- 町：そうである。
- 審議会委員：そうではない。映画の制作会社に売り込みに行っている自治体もある。

- 審議会会長：伊豆市では何でもやりますみたいな課があってドラマ等のロケ地となるようなPRをしているというのをテレビで見た。
- 審議会委員：朝ドラとかを見ているとご協力のところに何々町の皆様というふうに書いてあるのを見るが、あれは食事代や宿泊代等を全部負担してあげて、どうぞというふうにしているから表示されるクレジットだと聞いたことがある。お金はかかるが、まちの認知度を上げたり、PRしたりできるので、全体の合意の下で行われているようだ。
- 審議会委員：北の湖の部屋巡業が来たことはあるのか。
- 町：壮瞥には部屋巡業に来たことはないと思う。福島町みたいに土俵があれば、巡業を呼び込むことができると思う。たまたま運動会に来たことはあったようだ。
- 審議会委員：先ほどの会長の伊豆市の話は、フィルムコミッション（ドラマ・映画制作を支える職員）のことであり、映画やドラマのロケ地として売り込んでいるということである。
- 町：ボンビーガールに出演できる人はいませんかという電話は、この前受けたところである。
- 審議会委員：ドラマだけではなく、アニメも結構このへんは舞台になっている。天体のメソッドや銀魂が一例として挙げられる。アニメファンは聖地巡礼といって、アニメの舞台となった場所に訪れてくる。洞爺湖町ではそういった場所にはここがアニメに登場する舞台ですという説明があるが、壮瞥町では森と木の里センターが舞台となっているのに、説明板が何もない。温度差を感じる。もったいないと思う。
- 審議会会長：洞爺湖町ではコスプレ祭りみたいなのもやっている。
- 審議会委員：マンホールもポケモンの絵が書いているものもある。
- 町：洞爺湖町のマンガアニメフェスタ後に、森と木の里センターを訪れている人もいる。ただ、案内板は何もないので、検討させていただきたい。
- 審議会委員：夜空を見る集いにもアニメファンが来ている。
- 審議会委員：アニメファンは多い。
- 町：湘南でもスラムダンクの関係で、中国人ファンが訪れ、マナー等が問題になっているところもある。5ページの（2）の主な施策の中に、戦略的な誘客活動の推進、支援と位置付けており、ここでの具体的な取組としてドラマ等の誘致も必要な視点ということで、担当課に伝えさせていただく。
- 審議会委員：素朴な疑問であるが、5ページに本町を発祥とする雪合戦とあるが、幕別ではパークゴルフ課があるなど、何かの発祥地には必ずその名前が付いた課がある。親切で信頼される役場を目指すならそういうことも大事なのかなと思う。（幕別町の組織図を見ると今はパークゴルフ課はない。）
- 町：昔は雪合戦係があった。今は名称がなくなっているが、商工観光課でやっている。
- 審議会委員：商工観光課で雪合戦をやっているのは、オーソドックスなので、雪合戦課というのがあれば、また違うのかなと思う。
- 審議会会長：雪合戦は町外では盛り上がっているが、町内ではあまり盛り上がっていない気がしないでもない。
- 町：STY（壮瞥町町民雪合戦実行委員会）が試合に出るようになるまでは、町民のみなさんは審判などの運営に携わっている方がほとんどである。
- 審議会会長：実際に雪合戦をやるととても楽しいが、審判をやると冷めてしまう。
- 町：今は町民雪合戦大会というのをやっていて、今年で10回目となっているので、町民の熱は冷めていないと思っている。
- 審議会会長：今後の審議会はあと1回ぐらいあるのか。
- 町：あと2回お願いしたいと考えている。1月と2月に1回ずつを想定している。

○審議会会長：今後はどのように進めていくのか。

○町：2月のときは、完成版をお示ししたいと思っている。1月の会議は本日お配りした基本構想と序論も見ていただいて、ご意見等があればいただければと思っている。基本構想は前回お示したものと大幅に変更している。審議会や課長職、役場のプロジェクトチーム、町政懇談会等での意見を反映しており、数値目標も大幅に変えているので、そのへんも見ていただいて、次回にもご意見等をいただければと思っている。

○審議会会長：次回、ご意見を出していきたいと思っている。

### 3. その他

○町：次の会議は、1月16、17、20、21日のどこかでやりたいと思っているので、都合をお知らせいただければと思っているので、よろしくお願いします。